

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆価格転嫁受け入れても正当な人事評価を、中小企業庁が法令基準見直し

・中小企業庁は6月にも、発注先の企業の価格転嫁を受け入れた場合に発注元の担当者が不当な人事評価を受けないよう受託中小企業振興法が定める基準に新たな規定を設ける。同法の基準に「適切な価格転嫁を受け入れた調達部門の担当者が、正当に評価されるような人事制度の整備に努める」との文言を加え、商慣行の改善につなげる。

◆避難シェルター、全市区町村で人口カバー100%に 2030年までに整備

・政府はミサイル攻撃などに備える避難シェルターについて、2030年までに全ての市区町村で人口カバー率100%をめざす。現在は2割の自治体が未達。民間の既存の地下施設を活用し、数日間滞在できるよう水や食料などを備蓄。政府は「緊急事態を想定した避難施設(シェルター)の確保に関する基本方針」をまとめ、近く閣議決定する。

◆市販薬、ネット販売・税優遇の対象増 活用促す制度拡充

・軽い体調不良なら受診せず、市販薬を使って対応する「セルフメディケーション」を促す制度が拡充される。5月からインターネットで購入できる市販薬が増える。今国会で法案が成立すれば新型コロナウイルスの検査薬なども税優遇の対象になる。市販薬を活用した際のメリットを生かしたい。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆1月の機械受注5.5%減、2カ月ぶり減少 基調判断「持ち直し」維持

・内閣府が発表した1月の機械受注統計によると、設備投資の先行指標とされる船舶・電力を除く民需(季節調整済み)は前月比で5.5%減の9824億円だった。2カ月ぶりの減少となった。基調判断は「持ち直しの動きがみられる」で据え置いた。製造業が12.5%減の4358億円だった。2カ月ぶりの減少となった。

◆メガソーラー発電事業者への補助終了 27年度の新設分から

・経済産業省はメガソーラーと呼ぶ大規模太陽光発電など地上設置型の産業用太陽光パネルで発電する事業者への補助を2027年度の新設分から取りやめると正式に発表。12年度に始めたもので、産業育成が進んで支援が不要になったと判断。電気料金上乘せの再エネ賦課金は単価を26年度は1キロワット時あたり4.18円に設定するとも発表。

◆住宅設備のミラタップが家電事業に参入 5月にビルトイン冷蔵庫発売

・住宅設備大手のミラタップは家電ブランドを立ち上げると発表。第1弾として壁面収納と一体化したビルトイン型の冷蔵庫を5月に発売。住居空間を统一的にデザインするニーズが高まっており、住宅設備と調和した意匠性を前面に打ち出して市場を開拓。同社のキッチン設備などの販売網を生かして家電を展開する。

《 注目商品 》

■永大産業、厚1.8ミリのリフォーム用上貼りフロア

・既存床の上からそのまま施工できるリフォーム用の薄型上貼りフロア「カバーリエ」を6月29日に発売。厚さ1.8mmと薄いため、床暖房や遮音性能など既存床の機能を維持したまま見た目を一新できる上貼り床材。サッシ枠との段差がでにくい。



■パナソニック、コンパクト化と使い勝手向上を両立 compact-3 plan

・コンパクト化と使い勝手向上を両立した対面キッチンの新プラン。横並びの3つのコンロ「フラットワイドコンロ」、奥行を拡大し、3方向から囲んで使用できる「ラウンドアクセスシンク」、大容量で450mm幅の「フロントオープン食洗機」搭載プラン。



■HiKOKI ガスなしで効率的に打ち込めるコードレスコンクリート釘打機

・ガスなしでパワフルな釘打ちが可能「コードレスコンクリート釘打機 NC1840DA」を発売。同社初の「エアスプリング方式」を採用。ガスカートリッジの交換が不要で屋内でも快適に使用でき、コンクリート下地だけでなくH形鋼などの鋼材下地への直接打ち込みにも対応。

